

教科用図書採択参考資料綴り

教科名 技術・家庭

調 査 研 究 報 告 書

(小委員会名：技術・家庭科)

1 調査研究の経過・内容	☐ 6月27日(木) 第13・20採択地区教科用図書調査委員会 第1回技術・家庭科小委員会 ・小委員会の役割の報告 ・小委員会の調査研究日程の報告 ・報告様式の確認 ・役割分担の確定 ・連絡経路の確認 ☐ 6月28日(金)～7月16日(火) ・各自、各教科書(三社)についての調査・研究 ☐ 7月16日(火)～7月21日(日) ・意見交換資料のまとめ ☐ 7月22日(月) 第2回技術・家庭科小委員会 ・調査内容の交流 ・各教科書の内容、構成、使用上の配慮事項等に関わる意見交換 ・意見集約と報告書作成 ☐ 7月22日(月)・7月23日(火) ・報告書提出 ☐ 第2回13・20採択地区教科用図書調査委員会にて報告
2 調査研究の具体的資料	1 採択参考資料
3 少数意見等	

観点 番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	2・東書	第1学年 第2学年 第3学年	技術・002-72	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を造る Technology
取扱内容 〔学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等〕、内容の構成・排列	○ 〔知識及び技能〕の内容については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 「A 材料と加工の技術」 ・身の回りの製品や建造物について開発者が込めた問題解決の工夫を考えることを通して、材料と加工の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、生活や学校、社会の中から問題を見だし解決する学習活動を通して、材料と加工の技術を工夫し創造したりする活動 「B 生物育成の技術」 ・露地栽培のキャベツが穴だらけになった場合など、どのような管理作業が必要だったか作物の成長を管理する技術について考えることを通して、作物の成長を管理する技術や育成環境を調節する技術について理解したり、病虫害対策や土・肥料の選択などについて考えたりする活動 「C エネルギー変換の技術」 ・身に回りの危機がどのような仕組みで動いているかについて調べることを通して、生活や社会を支えているエネルギー変換の技術をについて理解し、家庭生活や学校生活の中で、エネルギー変換の技術に関わる問題を見だし課題を設定することを通して、活用できるシーズを考えたりエネルギー変換の技術を工夫し創造したりする活動 「D 情報の技術」 ・生活や社会を支えている情報の技術を探し、身の回りにある技術を振り返ることで、情報の技術と生活、社会や環境との関わりについて理解したり、よりよい生活の実現のために、情報の安全を確保するために必要な判断や対応、情報の技術でできることについて考えることを通して、情報の技術を工夫し創造したりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「生物育成の技術による問題解決」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、グループで育成計画を交流し、必要に応じて修正したり、栽培の育成計画や観察記録を振り返り、栽培レポートを作成したりするなど、考えを広げたり深めたりするなどの活動 ・「エネルギー変換による問題解決」において、問題を見いだして課題を設定したり、解決策の構想を考えたり深めたりするなどの活動 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 ・「技術分野の学習を始めよう」において、3 学年間の学習の見通しをもたせるとともに、「生活や社会を支える材料と加工の技術」において、技術に関する原理・法則と、基礎的な技術の仕組みについて理解する学習を行った後に、技術によって問題を解決する学習を位置付けるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 ・中学校技術の学習に見通しがもてるよう、巻頭にガイダンスを取り入れている。また、作業を楽しく安全に進めようなどの基礎的な内容を取り入れたり、「未来の Technology」（技術の評価・選択・管理・「運用、未来に向けた技術の改良・応用」などを取り入れたりするなど、発展的に学習できるような工夫 ・巻頭の「SDGs と Technology」では、持続可能な社会の構築のために技術が果たしている役割について分かりやすくするよう工夫されていたり、巻末の「Society5.0 のその先へ」では、AI や IOT、ビッグデータについて示されたりしており、持続可能な未来のためにどのようなことができるか考えさせるような工夫			

使用上の配慮等	○ ガイダンスでは、安全性や環境への配慮など多角的な視点で技術を捉えることができる「最適化の窓」を示したり、「技術のめがね」を掲載したりするなど、技術の見方・考え方に気付かせるための工夫がなされている。 ○ 各節の冒頭に考えを交流し合う「始めの活動」や、学習内容を振り返り、次の学習につなげる「まとめの活動」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 巻頭に安全への意識を高めるページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザイン書体を使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「Dマーク」（二次元コード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。 ○ 「技術の工夫」などのコラムを掲載したり、手順にそった写真を多く活用したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 節ごとに、吹き出し付きの「レッツスタート」があり、吹き出しのヒントを参考にしながら自分の課題を振り返ったり課題に気づいたりして、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 巻末には、「コンピュータの基本操作」や「プログラミング手帳」として、Scratch、ドリトル、JavaScript、HTML、Python、マイコンボードなどについて全12ページに渡り掲載しており、中学校で学んだ内容の発展的な学習内容として、高校情報との関連性についても取り扱うことができる工夫がなされている。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

観点 番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	6・教図	第1学年 第2学年 第3学年	技術・006-73 技術・006-74	新技術・家庭 技術分野 明日を創造する 新技術・家庭 技術分野 明日を創造する スキルアシスト
取扱内容 〔学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等〕、 内容の構成・排列	○ 〔知識及び技能〕の内容については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 「A 材料と加工の技術」 - 身近な製品の問題を見つけ、問題を解決する方法を考え、製作品を設計し製作や振り返りをする活動を通して、材料と加工の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、材料と加工の技術を工夫し創造したりする活動 「B 生物育成の技術」 - 生物の特性や習性に合わせて環境を調節する技術について考えることを通して、生物育成の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、技術のプラス面とマイナス面を踏まえ、社会における技術の在り方についてまとめることを通して、生物育成の技術を創造したりする活動 「C エネルギー変換の技術」 - 身の回りの製品の技術の工夫について調べることを通して、エネルギー変換の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、よりよいエネルギーの利用やエネルギー変換の技術の活用法などについて考えることを通して、エネルギー変換の技術を工夫し創造したりする活動 「D 情報の技術」 - 身近な生活や社会で利用されている情報の技術について理解したり、情報の技術の役割や影響を踏まえ、新しく開発したい技術について考えることを通して、情報の技術を工夫し創造したりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 「生物育成の技術『技術をいかそう』」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、自分の考えた計画を先輩や友人の計画と比較し見直したり、環境調節の仕方や成長に応じた管理の仕方などの修正案をまとめたりするなど、考えを広げたり深めたりするなどの活動 「材料と加工の技術『技術をいかそう』」において、問題を見いだして課題を設定したり、問題を解決させ、実践にいかしたり考えを深めたりするなどの活動 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 - 中学校技術の学習に見通しがもてるよう、巻頭にガイダンスを取り入れている。また、学習を楽しく安全に進めるために3つの心得を掲載したり、技術の問題解決とはどんなことなのかなどを取りあげたりするなど、発展的に学習できるような工夫 3学年間の学習の見通しをもたせるとともに、「材料と加工の技術『技術をみつめよう』」において、技術に関する原理・法則、基礎的な技術の仕組みについて理解する学習を行った後に、技術によって問題を解決する学習を位置付けるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 - 各内容の最終章では、技術の見方・考え方を働かせて今ある技術のプラス面・マイナス面を考慮し、未来のために持続可能な社会の実現について考えたり調べたりできるような工夫			

使用上の配慮等	○ 問題解決の流れを学ぶための４コマ漫画を示したり、設計・計画や実習に活用できるよう技術資料を別冊にまとめたりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 学習の流れを明確にするための「見つける」「学ぶ」「振り返る」の３つのステップや、学習内容を自ら確認し、振り返りにつながる「めあて」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 学習全体に対する安全や各編に特化した安全のページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザイン書体を使用したりするとともに、１人１台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。 ○ 問題解決の流れをイラストや写真を取り入れ、視覚的にもわかりやすくし、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 全体の割合として「Ｄ情報の技術」に関する内容が多く、図表や実践例が豊富に掲載されており、生徒の興味・関心を惹きつける工夫がなされている。 ○ 別冊「スキルアシスト」には、製作や栽培、プログラミングなどの実習ですぐに必要な技能が、大きな図表とともに分かりやすく使用上の便宜が図られている。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和７年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

様式 3 - 1 別紙報告書

技術・家庭小委員会

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
		9・開隆堂	第1学年 第2学年 第3学年	技術・009-72	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望を乗せて
取 扱 内 容 〔学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等〕、 内容の構成・排列		○ 「知識及び技能」の内容については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 「A材料と加工の技術」 ・身の回りの製品に使用されている材料と使用場面について調べることを通して、材料と加工の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、生活や社会の中から問題を見だし、問題を解決する学習を通して、材料と加工の技術を工夫し創造したりする活動 「B生物育成の技術」 ・季節を問わず安定して作物を生産する栽培方法の特徴について考えることを通して、生物育成の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、これからの生物育成の技術や、その活用について話し合うことを通して、生物育成の技術を工夫し創造したりする活動 「Cエネルギー変換の技術」 ・身近にある製品の変換効率を調べたり、技術の仕組みについて調べることを通して、エネルギー変換の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、新しいエネルギー変換の技術について調べ、考えたり交流することを通して、エネルギー変換の技術を工夫し創造したりする活動 「D情報の技術」 ・情報の技術と身の回りにある製品やサービスとの関わりについて考えることを通して、情報の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、自身が経験した問題解決の過程と社会における問題解決をつなげて考えることを通して、情報の技術を工夫し創造したりする活動			
		○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「生物育成の技術による問題解決」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、設定した課題に応じて育成計画を立てたり、問題解決の過程を振り返り、育成した作物の評価をもとに改善策を考えたりするなど、考えを広げたり深めたりするなどの活動 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 ・中学校技術の学習に見通しがもてるよう、巻頭にガイダンスを取り入れている。また、基礎的な技術の仕組みについて理解する学習を行い、技術によって問題を解決する学習を取り入れるなど、発展的に学習できるような工夫 ・「技術の学習を始める前に」において、3学年間の学習の見通しをもたせるとともに、「材料を利用するための技術」において、技術に関する原理・法則と基礎的な技術の仕組みについて理解する学習を行った後に、技術によって問題を解決する学習を位置付けるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 ・技術の学習で行う問題解決の流れが見開きで表記されており、ガイダンスでは漫画形式で問題解決の流れが示され、各内容では「問題の発見と課題の設定」「構想と設計（計画）」「製作（制作、育成）」「成果の評価と改善」で統一的に示すなどの工夫			

使用上の配慮等	○ ガイダンスでは、「技術の役割」として、身近な製品を取り上げて素材や形状の工夫を紹介し、「しくみの最適化」について説明することで、学習に対する見通しをもたせるとともに、技術の見方・考え方が分かりやすく説明されている。 ○ 問題解決の流れのイメージをもたせるための4コマ漫画を示したり、実践的・体験的な学習活動や実習例を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 各小項目の冒頭に学習の見通しをもつ「学習の目標」や学習内容について自分で振り返るための「チェック」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がされている。 ○ 学習における安全について授業場面を例に説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインを使用したりするとともに、1人1人端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。 ○ 各内容の「社会と発展と技術」では、技術の「可能性」と「課題」について示されており、これからの技術とその活用について考えさせるよう工夫されている。 ○ 巻末には、「命を守る防災、医療、介護の技術」について掲載し、3学年間の学習を振り返り、発展的に学習を深め、「持続可能な社会を目指して」をキーワードに学びを生活に活かそうとする意欲を高めるための工夫がなされている。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

様式 3 - 1 別紙報告書

技術・家庭小委員会

観点 番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	2・東書	第1学年 第2学年 第3学年	家庭・002-72	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して
取扱内容 〔学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等〕、内容の構成・排列	○ 家庭分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 「A 家族・家庭生活」 ・家族・家庭の基本的な機能について理解するとともに、家族・家庭生活に関する知識及び技能を身に付け、これからのせいかつを展望して、家族・家庭や地域における生活の課題を解決する力を養い、家庭生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成するよう、家庭内外の仕事について理解したり、家族が家事をどのように分担しているかを振り返ったりする活動 「B 衣食住の生活」 ・食生活、衣生活、住生活に関する知識及び技能を身に付け、現在の生活を振り返ったり、これからの生活を考えていながら、それぞれの課題を解決する力を養い、衣食住の生活を工夫しようとする実践的な態度を育成するよう、環境のことを考えた調理や衛生と安全、住まいの中の危険や対策について考えたりする活動 「C 消費生活・環境」 ・消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付け、現在の生活を振り返ったり、これからの生活を考えていったりしながら、消費生活と環境についての課題を解決する力を養い、消費生活と環境について工夫していこうとする実践的な態度を育成するよう、消費者の権利と責任に関する知識を身に付けたり、消費者トラブル対策、エネルギー消費を減らす方法を考え、消費生活を工夫していく活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 「A 家族・家庭生活」 ・自立に向けて中学生の自分にできることを振り返り、協力・協働、共生について考えを広げたり深めたりする活動 「B 衣食住の生活」 ・環境のことを考えて工夫していくサステナブルクッキングを取り上げ、食材を無駄なく使う工夫のほかに、毎日の生活の中で一人ひとりができることを考え実践し、考えを広げたり深めたりする活動 「C 消費生活・環境」 ・消費行動が環境に与える影響やエネルギー消費を減らす方法について考えを広げたり深めたりする活動 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 ・中学校家庭科の学習に見通しがもてるよう、巻頭にガイダンスを取り入れている。また、「A 家族・家庭生活」「B 衣食住の生活」「C 消費生活・環境」の内容を「生活の課題と実践」として例をあげて取り上げ、発展的に学習ができるよう工夫がなされている。 ・小学校家庭科の学習を踏まえ、中学校における学習の見通しを立てさせるため巻頭にガイダンス的な内容を位置付けるとともに、「生活の課題と実践」において「A 家族・家庭生活」と「C 消費生活・環境」の関連を図り、限られた予算の中で、地域の人と炊き出し訓練を開催する実践を例示するなど、系統的・発展的に学習できる工夫がなされている。 ・各章末に学習のまとめ「生活に生かそう」が設けられており、主体的に学習に取り組む態度の育成ができるように工夫がなされている。			

使用上の配慮等	○ 「環境」「防災」「伝統文化」などのマークや「プロに聞く!」「せいかつメモ」などのコラムを掲載したり、大きく鮮やかな写真や実物大写真を活用したりするなど生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 学習のまとまりごとに、生徒が自分の課題に気付くために生徒やキャラクターによる課題に繋がるヒントを示したり、学習したことを自分自身の生活に活かすために「生活に活かそう」を設けたりするなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 「せいかつメモ」などのコラムを掲載したり、大きめの写真や実物大写真を活用するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 節ごとに、吹き出し付きの「レッツスタート」があり、吹き出しのヒントを参考にしながら自分の課題を振り返ったり課題に気づき、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 2次元コードを掲載し、生徒が一人ずつタブレットを活用して動画やシミュレーションを活用できるようにするなど、使用上の便宜が図られている。 ○ 「2編 私たちの食生活」では、実寸大の写真が多く使用されており前回よりも実習例や参考例の写真は「おいしそう」「作ってみたい」と感じるような色合いになるよう工夫がなされている。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

観 点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	6・教図	第1学年 第2学年 第3学年	家庭・006-72	新技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する
取 扱 内 容 〔学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等〕、内容の構成・排列	○ 家庭分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 「A 家族・家庭生活」 ・家族・家庭の基本的な機能について理解し、家族や家庭生活に関する知識及び技能を身に付け、家族・家庭・地域における生活の課題を解決していく力を養い、工夫しながらよりよい生活を送ろうとする実践的な態度を育成するよう、高齢者の一般的な身体の特徴や高齢者とのかかわり方について理解したり、家族の一員としてできることや家庭生活と地域のかかわりについて振り返ったり考えたりする活動 「B 衣食住の生活」 ・食生活、衣生活、住生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、それらの課題を解決する力を養い、衣食住の生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成するよう、災害時を想定した調理を行ったり、健康を守る室内環境の整え方について考えたりする活動 「C 消費生活・環境」 ・消費生活・環境に関する知識および技能を身に付け、これからの生活を展望して、身近な消費生活と環境についての課題を解決する力を養い、身近な消費生活と環境について工夫し創造しようとする実践的な態度を育成するよう、販売方法や支払い方法に関する知識を身に付けたり、自分が住んでいる地域の消費生活センターの所在地を調べたりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 「A 家族・家庭生活」 ・自分にとっての家族・家庭とはどのような存在なのかをロールプレイングをしたり、グループで話し合ったりして、考えを広げたり深めたりする活動 「B 衣食住の生活」 ・自然災害への備えとして掲載されているイラスト入りのチェックシートを活用し、自然災害対策としてより具体的にイメージしながら現在の備えと今後必要なものをチェックし取り入れたり、考えを深めたりしていく活動 「C 消費生活・環境」 ・消費生活が環境に及ぼす影響について考え、普段生活の中でできる「環境に配慮した行動」をあげていき、消費生活を振り返りながら考えを広げたり深めたりする活動 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 ・中学校家庭科の学習に見通しがもてるよう、巻頭にガイダンスを取り入れている。また、「A 家族・家庭生活」「B 衣食住の生活」「C 消費生活」の内容を「生活の課題と実践」として例をあげて取り上げている。「A 家族・家庭生活」と「B 衣食住の生活」の関連を図っている幼児のおやつについては、季節や行事、食物アレルギー、幼児が食べやすいものにした実践を例示するなど系統的・発展的に学習できるよう工夫 ・小学校家庭科の学習を踏まえ、中学校における学習の見通しを立てさせるために巻頭にガイダンス的な内容を位置付けるとともに、「生活の課題と実践」において「B 衣食住の生活」と「C 消費生活・環境」の関連を図り、しまったままの衣服について考え、買い物のむだを減らす実践を例示するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 ・見開きごとに、「見つめる」「見つめてみよう」「学ぶ」「振り返る」の4段階で構成され、問題解決的な学習を進めれば知識・技能が習得できるように工夫			

使用上の配慮等	○ 「環境」「防災」「伝統文化」などのマークや「センパイに聞こう!」「メッセージ」などのコラムを掲載したり、幼児の表情がわかる写真や実物大写真を活用したりするなど生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 学習のまとまりごとに、学習前と学習後の自分の状況を比較し学習効果を実感するために「自立度チェック」を設けたり、生活の中の課題を、ステップに沿って解決するために「学びを生かそう」を設けたりするなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 「食物アレルギーへの対応」などが掲載されていたり、調理手順の写真も数が多く、見やすくしたりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「やってみよう」「調べてみよう」などの活動内容や例なども多く便宜が図られている。 ○ 実習例では写真や図を使用し、衛生の注意事項にマークを表記している。食物アレルギー物質を含む食材には下線が記され、代替食材も記載されるなど便宜が図られている。 ○ イラストよりも写真が多く、また、重要語句を青文字にするなど指導者と生徒のイメージが共有しやすくなるよう便宜が図られている。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
		9・開隆堂	第1学年 第2学年 第3学年	家庭・009-72	技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ
取 扱 内 容 〔学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等〕、 内容の構成・排列	○ 家庭分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 「A 家族・家庭生活」 ・家族・家庭の基本的な機能について理解し、家族や家庭生活に関する知識及び技能を身に付け、家族・家庭・地域における生活の課題を解決していく力を養い、工夫しながらよりよい生活をおくろうとする実践的な態度を育成するよう、これまでの自分や家族の存在を振り返ったり、これからの自分や家族、生活に必要な費用について考えたりする活動 「B 衣食住の生活」 ・食生活、衣生活、住生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、それらの課題を解決する力を養い、衣食住の生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成するよう、加工食品を活用した調理を行ったり、家族の希望を踏まえた部屋の使い方について考えたりする活動 「C 消費生活・環境」 ・消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、身近な消費生活と環境についての課題を解決する力を養い、身近な消費生活と環境について工夫し創造しようとする実践的な態度を育成するよう、売買契約の成立と解約に関する知識を身に付けたり、キャッシュレス支払いで便利になったことや困ったことについて話し合ったりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 「A 家族・家庭生活」 ・立場の違う人の役割をロールプレイング（役割演技）していき、他者を理解することとして、考えを広げたり深めたりする活動 「B 衣食住の生活」 ・家族の希望を調整して部屋の使い方について考えていく活動 「C 消費生活・環境」 ・消費者としての行動の具体例をあげ、そのような消費者がいなかったらどうなるかなど、想像や考えを広げたり深めたりする活動 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 ・中学校家庭科の学習に見通しがもてるよう、巻頭にガイダンスを取り入れている。また、「A 家族・家庭生活」「B 衣食住の生活」「C 消費生活」の内容を「生活の課題と実践」として例をあげて取り上げている。「A 家族・家庭生活」と「B 衣食住の生活」の関連を図っている加工食品と食料備蓄、平常時からの備えについては、災害時に役立つ食料、ローリングストックなど具体的に例示し、系統的・発展的に学習できるような工夫 ・小学校家庭科の学習を踏まえ、中学生における学習の見通しを立てさせるために巻頭にガイダンス的な内容を位置付けるとともに、「生活の課題と実践」において「A 家族・家庭生活」と「B 衣食住の生活」の関連を図り、祖父母と一緒に食べるお弁当をつくる実践を例示するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 ・「調理の基礎」や「製作の基礎・基本」で基礎的な技能がまとめて掲載され、基礎的・基本的な知識・技能を習得できるような工夫				

使用上の配慮等	○ 学習のまとまりごとに、自分事として、家庭生活・地域・社会に関心をもつために「生活の具体的な場面の例」を示し生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「自己肯定感」「ダイエットと骨の話」など、参考資料も多く掲載されていて、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「豆知識」として、学習に関連する内容が多く掲載されていたり、自分で考え実践するために「やってみよう」「考えてみよう」「話し合ってみよう」を設けるなど、生徒が主体的に学習できるよう工夫されている。 ○ ⊖ 調理実習例では写真や図を使用し、衛生の注意事項のマークを表記していたり、食物アレルギー物質を含む食材には黄色を付したりして注意を促す表記がされており生徒が主体的に学習できるよう工夫されている。 ○ 「B 食生活」の内容では、1 日にとりたい食品と分量の例として、実寸大の写真が掲載されており分かりやすいだけではなく、生徒の興味・関心を惹きつける工夫がなされている。 ○ 「A 家族・家庭生活」の内容から掲載されており、これまでの自分、家族、幼児の成長の順で教科書を読み進めていくと、その後の「衣食住の生活」と「消費生活・環境」の内容がより、表題の「自立しともに支え合う生活へ」と関連していることが読み取れる流れになっており生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和 7 年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

調査研究に係る協議・調査内容

技術・家庭科小委員会

番号	協議題	協議・調査内容
1	子どもが学ぶことに興味や関心をもち、粘り強く学習活動に取り組む「主体的な学び」に関する配慮について	生物育成の技術で三社を比較した場合、「東京書籍株式会社」は、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、グループで育成計画を交流し、必要に応じて修正したり、計画や記録を振り返り、レポートを作成したりするなど、考えを広げたり深めたりするなどの活動が取り上げられている。 「教育図書株式会社」は、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、自分の考えた計画を先輩や友人の計画と比較し見直したり、考えを広げたり深めたりするなどの活動が取り上げられている。 「開隆堂出版株式会社」は、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、設定した課題に応じて計画を立てたり、問題解決の過程を振り返り、評価をもとに改善策を考えたりするなど、考えを広げたり深めたりするなどの活動が取り上げられている。
2	内容の構成・排列について	三社ともに、3 学年間の学習の見通しをもたせる内容の構成と配列になっている。その中で三社を比較すると「東京書籍株式会社」は、「生活や社会を支える材料と加工の技術」において、技術に関する原理・法則と、基礎的な技術の仕組みについて理解する学習を行った後に、技術によって問題を解決する学習を位置付けるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫をしている。「教育図書株式会社」は、巻頭にガイダンスを取り入れている。また、学習を楽しく安全に進めるために3つの心得を掲載したり、技術の問題解決とはどんなことなのかなどを取りあげ、発展的に学習できるような工夫を取り入れている。 「開隆堂出版株式会社」は、問題解決の流れが見開きで表記されており、ガイダンスでは漫画形式で問題解決の流れが示され、各内容では「問題の発見と課題の設定」「構想と設計（計画）」「製作（制作、育成）」「成果の評価と改善」で統一的に示すなどの工夫がなされている。
3	三社それぞれの工夫について	「東京書籍株式会社」は、巻頭の「SDGs と Technology」では、持続可能な社会の構築のために技術が果たしている役割について分かりやすくするよう工夫されていたり、巻末の「Society5.0 のその先へ」では、AI や IOT、ビッグデータについて示されており、持続可能な未来のためにどのようなことができるか考えさせるような工夫がされている。「教育図書株式会社」は、別冊「スキルアシスト」には、製作や栽培、プログラミングなどの実習ですぐに必要な技能が、大きな図表とともに分かりやすく使用上の便宜が図られている。最後に「開隆堂出版株式会社」では巻末には、「命を守る防災、医療、介護の技術」について掲載し、3 学年間の学習を振り返り、発展的に学習を深め、「持続可能な社会を目指して」をキーワードに学びを生活に活かそうとする意欲を高めるための工夫がなされている。

※行が足りない場合は増やしてください。

※1 つの教科・領域で2～5の協議題、協議・調査内容を記載してください。